

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○: イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。(×: カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教 師 ノ ー ト

日付	2022年 3月27日
単元	イースター
テーマ	大宣教命令に従う弟子となる
タイトル	大宣教命令
テキスト	マタイ28:1～20
参照箇所	マルコ16:15～20
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マタイ28:19～20
AG 日曜学校教案参照箇所	中学1巻③11課
□導入	<p>マタイの福音書の最後は、非常に重要なイエスさまの命令で締めくくられています。今日はこの「大宣教命令」について学びましょう。</p> <p>※今週からイースターの週までは、イエスさまの復活に関連する聖書の教えについて学びます。</p>
□ポイント1 イエスさまは、弟子たちにお会いになりました(28:1～10、16～17)	<p>イエスさまが、十字架にかかられてから3日目の朝、マグダラのマリヤたちは、イエスさまのお墓を見に行きました。すると主のみ使いが現れて言いました。「恐れてはいけません。イエスさまは、もうここにはおられません。よみがえられたからです。」イエスさまは、復活なされたのです！主のみ使いは、続けて女の人たちに言いました。「急いで行って、弟子たちに、イエスさまが復活されたことを知らせなさい。そして、ガリラヤでお会いできるということを、伝えなさい。」女の人たちは、びっくりしましたが、大喜びで、急いで弟子たちに知らせに走って行きました。</p> <p>その道の途中、今度は、イエスさまご自身が、彼女たちに現れてくださいました。彼女たちは近寄って、イエスさまの足に抱きついて、礼拝しました。</p> <p>女の人たちから、それを聞いた11人の弟子たちは、エルサレムからガリラヤに移動しました。そして、イエスさまの指示された山に登って、イエスさまを待ちました。すると、イエスさまが、弟子たちに現れてくださいました。弟子たちは、イエスさまを礼拝しました。</p>
□ポイント2 イエスさまは、「弟子としなさい」という大切な命令を与えてくださいました(18～20a)	<p>「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」</p> <p>これを、みなさんにわかりやすい言葉で説明するために、次のように言いかえることができます。</p> <p>「わたし(イエスさま)こそ、本当の神ですから、すべての者はわたしに従うべきです。ですから、<u>地上のすべての者が、みことばに従って生きる弟子になるようにしなさい。</u></p> <ol style="list-style-type: none">1. 世界中のだれもが、わたしの福音をきくように、行って伝えなさい。2. そして、福音を信じるように、導きなさい。3. また、わたしがあなたがたに教えたすべてのことを、しっかりと守って生きるように教えなさい。」 <p>わたしは生きていて、あなたがたがこの命令を成し遂げることができるように、いつもともにいて助け</p>

ます」

④ 大宣教命令の中に出てくる動詞のうち「弟子としなさい」が主動詞(命令形)です。他の「行って」「バプテスマを授け」「教えなさい」は分詞です。ですから、原語(ギリシャ語)に従うと、上記のような意味になります。

□結論 イエスさまは、大宣教命令を与えてくださいました

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

A、みなさんも世界の人々を弟子とする働きをしましょう！

イエスさまは、復活し、今も生きておられます。過去のお方ではありません。今もリアルに生きておられるのです。ですからイエスさまの權威に、すべての者が従うべきです。イエスさまの愛を伝えましょう。難しいと思うかもしれませんが、この命令を成し遂げるために、復活のイエスさまが、私たちとともにいてくださるのです。イエスさまの「權威」と「助け」によって、宣教が拡大され、今日も世界中に教会があるのです。これが本当だからこそ、あなたにも福音が届いたのです。あなたも、この命令に従って、イエスさまの弟子となりましょう。そして、世界の人々を弟子とする働きをしましょう。イエスさまが、ともにいて助けてくださるから大丈夫です！

B、「弟子としなさい」の命令を守るために、まず自分が弟子になりましょう！

次の3つのことができるように、教会の先生に訓練をしてもらいましょう(弟子訓練)。

1. 「行って」積極的に、たくさんの人と友だちになって、イエスさまのことを伝えるきっかけや関係をつくることです。イエスさまの弟子を増やすには、たくさんの人と出会い、イエスさまのことを伝えるチャンスをつくる必要があります。人を愛せるように、人間関係作りができるように、なりましょう。
2. 「バプテスマを授け」 聖書から福音をしっかりと説明して、イエスさまを信じるように導くことです。よく聖書を学び、暗唱聖句をしましょう。
3. 「教える」 信じただけでなく、みことばに従って生きる人になるように、よく教えることです。教えるというのは、口頭で教えるだけでなく、自分がお手本を見せ、しっかり訓練する必要があります。まず自分が、イエスさまを愛して、みことばに従う信仰生活を送りましょう。

C、復活を信じましょう！

イエスさまは、本当によみがえりました。もし、イエスさまが、十字架で死んでくださったただけなら、私たちは、依然として、罪の支配の下にいてと言われてしまうかもしれません。死は、罪の結果だからです。しかしイエスさまは、死に打ち勝ったのです。死を打ち破ったということは、罪の支配を完全に打ち破ったということです。ですから、本当にイエスさまだけが、私たちに、永遠の命を与えることができるのです。

教師ノート

日付	2022年 4月 3日
単元	イースター
テーマ	キリストの再臨への備え
タイトル	小さなことでも
テキスト	マタイ25:31-46
参照箇所	マタイ10:42、黙示録22:12、ヘブル9:27
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マタイ25:40
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入	<p>羊ってどんな鳴き声をしますか？(メー)そうですね。では、ヤギはなんて鳴くか聞いたことがありますか？(メー・笑)ある人は「ヤギはソプラノ、羊はアルト、牛はテナー」と言って、羊よりもヤギの方がちょっと高い声で鳴くそうです。姿も何となく似ていますよね～(画像なども見せながら)。鳴き声はなかなか違いが分からないですよ。でも羊とヤギは確かに違うんですね。</p> <p>では、イエス様を信じている人と信じていない人の違いって何でしょうか？イエス様を信じている人も信じていない人も、同じ人間です。同じように生まれてきて、ご飯を食べて、やがては死にます。イエス様を信じていても信じていなくても、結局は死んでしまうのなら同じなんではないでしょうか？</p> <p>イエス様は十字架にかかり、3日目に甦って、天に昇られました(先週の復習)。そのイエス様はやがて私たちのところに来られます。その時、イエス様を信じて生きてきた人とイエス様を信じないで生きてきた人は、かけられる言葉が違うんですよ～。</p>
□ポイント1 イエス様は再び来られます(31-33節)	<p>天に昇られたイエス様は、いつかは分かりませんが栄光の王として再び地上に来られます。その時、死んでいる人もみんな生き返って、全ての人々がイエス様の前に集められます。そして、羊飼いが羊とヤギを分けるようにして、イエス様を信じて生きてきた人々を右に、イエス様を信じないで生きてきた人々を左に分けられます。</p> <p>☞「羊と山羊のたとえ」として知られているところですが、厳密な意味では「たとえ」というより、むしろ詩的に最後の審判の預言的描写をしています。マタイ16:27の成就が描かれています。(新聖書注解)</p>
□ポイント2 王は右側にいる人々を祝福します(34-40節)	<p>その時、イエス様は、イエス様を信じて生きてきた人たちに「あなたたちは私(イエス様)が困っているときに助けたり親切に世話をしてくれたから、御国(永遠の命)を受け継ぎなさい」と言われます。しかし、その人たちは、「私たちはイエス様を助けたり親切に世話をした覚えなんてありません」と答えます。するとイエス様は「(直接イエス様にしたのではなくても)地上でお友だちや困っている人たちのため、最も小さい者たちの1人にしたことは私(イエス様)にしたことです」と言われました。</p> <p>☞愛の業は、救いや御国に入る条件ではありません。イエス様を信じてきたことの結果として伴う証拠です。「正しい」というのは、その人自身の行いの正しさ・正義というよりも、神との関係の正しさのことでしょう。新共同訳聖書の旧約では、「正しい人」を「神に従う人」と訳しています。神との関係が正しく、真つすぐなものであり、神に従う人は、結果として隣人に対して愛の業を行うようになるということでしょう。</p>

□ポイント3 王は左側にいる人々をのろわれた者どもと言いました（41-46節）

一方、イエス様は、左側にいる人々に、「あなたたちは私（イエス様）が困っているときに助けたり親切に世話をしてくれなかったから永遠の刑罰に入れ」と言われました。その人たちは「私たちはイエス様が困っているときに助けなかったり親切に世話をしなかった覚えはありません」と言いました。イエス様は困った人など最も小さい者たちの1人にしなかったことは私にもしなかったことと言われました。

☞ 罪とは、悪いことをした結果のことではなく、神との正しい関係にない状態、的外れの状態のことを言います。行為そのものよりも、神との正しい関係にない状態が罪の状態なので、善を「しなかったこと」も罪であると聖書は示しています（参照ヤコブ4:17）。

☞ 「羊＝良い動物」、「山羊＝悪い動物」という先入観を植えつけないように注意しましょう。

□結論 私たちが毎日の生活で行う親切（愛のわざ）は、どんなに小さくてもイエス様にしたこととして覚えられ、やがてイエス様が来られた時に大いに喜ばれます。

イエス様は、私たちが身近な人に対して、困っている時に助けたり、親切にすあをすることを、「わたしにしてくれたことだ」と言ってくださいます。嬉しいですね。私たちの小さな親切は死んでなくなってしまうのではなく、誰が見ていなくてもイエス様は見えて知って下さっており、やがてイエス様が喜んでくれるのです。

☞ 誰が御国に入るのか、そして永遠の刑罰を受けるのかを決めるのは、神の支配の中にあることです。短絡的に、イエス様を信じていなかった人は全員が永遠の刑罰を受けるということを強調するのではなく、イエス様を信じている人々は永遠の命を得ることができることを強調し励ましましょう。（イエス様のことを知らないで生きた人たちのことについては、ロマ書2章などから考察することが出来るでしょう）

☞ 参照：賛美「そらのとりは」『救いの聖歌』（いのちのことば社）

1節「空の鳥は小さくても お守りなさる神様」 2節：「私たちは小さくても お恵みなさるイエス様」
3節「悪いことは小さくても お嫌いなさる神様」 4節：「愛の業は小さくても 喜びなさる神様」

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

私たちがしなかった親切は、イエス様にしなかったこととなります。私たちのまわりに困った人がいたら、自分に何が出来るかを考えましょう！それがどんなに小さなことでもイエス様にしたこととして、イエス様が大いに喜んでくれます。

1. 先週、困ったなあと思っている人に会いませんでしたか？
仲間外れにされている人、何かをなくしてしまった人、迷子になっている人、病気で学校を休んでいる人、手伝いを必要としている人、友だちがいなくて寂しそうにしている人などなど・・・
そんな人たちのために自分は何が出来るか、考えてみましょう。
2. お祈りをして、小さな親切をする力をイエス様に頂きましょう。

教 師 ノ ー ト

日付	2022年 4月10日
単元	イースター
テーマ	新天新地
タイトル	希望の天国～新しい天と地
テキスト	黙示録21:1-5、8、27
参照箇所	Ⅱ ペテロ3:13、黙示録21章
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	Ⅱ ペテロ3:13
AG 日曜学校教案参照箇所	小下 2 巻④12 課、中学 1 巻②13 課、中学 3 巻②13 課、中学 3 巻③12 課
□導入	<p>イエス様を信じている私たちは、死んだらどこへ行くのでしょうか？ヨハネはパトモス島で、聖霊によって新しい天と地である天国の幻を見て、それを書き記しました(ヨハネの黙示録)。イエス様を信じている人が行く天国って、いったいどんなところなのでしょう？</p>
□ポイント1 天国は神様が共におられるところです(21:3)	<p>ヨハネは新しい天と地である天国の幻を見ました。今、地上にいる私たちは神様を見ることはできませんが、天国では私たちは王なる神様の民となり、神様が私たちと一緒に住まわれるのです！</p>
☞この單元では、「天国」＝「新天新地」として説明しておくことが子どもたちに分かりやすいでしょう。では今、神様がおられる「天(国)」と「新天新地」の違いについて、子どもたちには以下のように説明できるでしょう。	<ul style="list-style-type: none">・「今、神様がおられる天(国)」…神様が住まわれているところ・「新天新地」…古い天と地が消え去り(黙 20:11)、神様を信じる人全員が神様と共に住むところ
☞エリクソンは「天」という言葉の意味を大きく3つ挙げています(『キリスト教神学第4巻』)。	<ul style="list-style-type: none">・天… 1. 宇宙論的な意味(創世記1:1、マタイ5:18)2. 神の同義語(ルカ 15:18、ヨハネ 3:27)3. 神の住まい(マタイ 6:9、…)
□ポイント2 天国では、全ての痛みや悪が取り去られます(21:4-5)	<p>神様は私たちの痛みや悲しみを知っておられ、慰め主として私たちの目の涙をまったくぬぐいとって下さいます。天国ではもはや死もなく、悲しみも、叫びも、苦しみもありません！なぜなら古いものは過ぎ去り、全てが新しくなるからです。</p>
☞つらい経験などをしている子どもたちがいたなら、神様は全部知っておられること、慰めてくれることを語りましょう。天国では完全な慰めがありますが、地上では死があっても癒しや復活の希望があること、悲しみがあっても慰めがあること、叫ぶことがあっても賛美に変えて下さることなど、天国の前味が与えられていることも語ると良いでしょう。	
☞天の本質は、臨在と悪が取り去られることの他に、栄光が現わされることもあります。また天国における生活(活動)には、安息、礼拝、奉仕があります。(ミラード・J・エリクソン『キリスト教神学第4巻』)	

□ポイント3 天国は、小羊のいのちの書に名前が記されている人が入れます (21:8、27)

小羊とはイエス様のことで、いのちの書に名前が記されている人とは、イエス様を信じている人のことです。イエス様を信じていのちの書に名前が記されている人は、天国に入ることができます。イエス様の救い(十字架と復活)を信じないで、罪や汚れを持ち続けている人は、天国に入れません。

☞ 例話: どんなことをした人が天国に入れないで、火と硫黄との燃える池の中に入れられると思いますか? ……、そうだね、殺人を犯した人とかは確かに悪いよね。でも 21:8 を読むと、「おくびょう者」が罪のリストの一番にきています。「おくびょう」ってどうして一番にあげられているんだろう? ……どうしておくびょうになってしまうんだろう? ……そう、神様を信じきれないからおくびょうになったりこわくなったりするんですね。神様を信じる時、おくびょうは小さくなり、神様を信じきれない時、おくびょうは大きくなります。実は神様を信じない、信じきれないってことが大きな罪なんですよ。

またこの罪のリストは、こういうことを 1 回でもした人は天国にいけないってことではありません。イエス様を信じないで、ここに書いているような罪を犯し続けるとき、天国には入れないんです。でもイエス様を信じる時、小羊のいのちの書に名前が記されて、天国に行けるんです!

□結論 イエス様を救い主と信じている人は、罪がゆるされて素晴らしい天国に入ることができます。

☞ 天国への希望を語り、イエス様のことを改めて信じる決心の時を持つても良いでしょう。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. イエス様を信じる決心

私たちは死んで終わりではありません。イエス様を信じていのちの書に名前が記されている人は、天国行きの切符を持っているのです。神様が共にいて死も痛み悲しみもない天国に行くのと、第2の死と言われる火と硫黄の燃える池の中に行くのと、どちらを選びますか? イエス様を信じ続けていきましょう! (注意: 地獄を強調して恐怖心を起こさせるのではなく、天国の素晴らしさを強調するように語りましょう。)

2. 悔い改めの決心

イエス様のことを救い主と信じているのに、罪のリスト(子どもたちのために噛み砕きながら)に入っているようなことを、行い続けている人はいませんか? イエス様の十字架は全ての罪から私たちをきよめ、復活のイエス様は罪に勝つ力を与えてくれます。このことは神様が喜んでいないなあと思うことがあれば、お祈りの中で神様に「ごめんなさい」と悔い改めましょう。

3. イエス様のことを伝える決心

せっかく地上で家族や友だちになったのに、一緒に天国に行けなかったらさびしいよね。家族や友だちがイエス様を信じるができるようにお祈りをしてイエス様のことを伝えていきましょう。

教 師 ノ ー ト

日付	2022年 4月17日
単元	イースター
テーマ	イエス様のよみがえり
タイトル	イエス様の言葉を思い出した女の人たち
テキスト	ルカ24:1-12
参照箇所	マタイ28:1-20
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ルカ24:5-6

AG 日曜学校教案参照箇所

□導入
イースター、おめでとうございます！！
イースターは、十字架にかかって死なれたイエス様がよみがえられたことを記念してお祝いする日です。イエス様がよみがえられた朝、イエス様のお墓でどのようなことが起こったのでしょうか。イエス様の身体が墓の中になくなくなったことを見た女の人たちといっしょに、イエス様がよみがえられた朝に起こったできごとをみていきましょう。

□ポイント1 墓の中にイエス様の身体がありませんでした。
女の人たちはイエス様のお墓にいきました。女の人たちの手には香料がありました。イエス様のお身体に塗るために準備した香料です。イエス様を大切にしたいと思っていたのです。イエス様は女の人たちにとって本当に大切なお方だったのです。しかし、女の人たちが墓につくとびっくりしました。お墓の穴を閉じていた大きな石がわきに転がしてあったのです。それだけではありません。お墓の中にはいってみると、そこにおいてあったイエス様のお身体がなかったのです。女の人たちはどんな気持ちになったのでしょうか。聖書には「途方にくれて」と書いてあります。何がおこったのか女の人たちは理解出来なかったのです。そして悲しい気持ちになりました。大切なイエス様のお身体がなくなったのですから。女の人たちは墓についたら、あれをして、これをしてと、いろいろとやることを考えていたと思います。もちろん、あの大きな石をどうやって動かそうか？イエス様のお身体に香料を塗ってさしあげて……。でも石は動いているし、イエス様のお身体はなくなっている。女の人たちが想像もできないことが起こっていたのです。何をしたらいいのか何も思い浮かばない女の人たちがそこにいました。

☞墓:通常、柔らかい石灰岩を切り開いた空洞に遺体は埋葬された。このような墓には、約1m四方の入り口があった。墓の外側には溝が掘られ、石臼のような大きな丸い石が、入り口を塞ぐために転がされていた。(The Study Bible 新約聖書 日本聖書協会より)

☞香料と香油:これらは恐らく没薬や沈香のこと(ヨハネ19:39)。中東特有の文化では、薬用や遺体の防腐処理に没薬や沈香はパレスチナで成育しないので、高価なものだった。(The Study Bible 新約聖書 日本聖書協会より)

□ポイント2 イエス様はよみがえりました。
何が起こったのかわからず、悲しい気持ちになっている女の人たち。そこに天使が近づいてきました。「まばゆいばかりの衣を着た」天使です。女の人たちはどんなに驚いたことでしょうか。驚いただけではありません。恐ろしくなりました。
恐れている女の人たちに天使はメッセージを伝えました。一緒に天使の伝えた言葉を読んでみましょう。5

節と6節です。「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです」。この言葉を聞いた女の人たちはどんなふう思ったでしょう。嬉しいニュースだけど、「えっ」と不思議に思ったかもしれませんね。そして、死んだイエス様がよみがえったなんて、すぐには信じられないことだったと思います。イエス様のお身体がなくなって「途方にくれていた」女の人たちが、今は天使の言葉を聞いて、信じられない思い、不思議な思いになりました。

天使は続けて言いました。「イエス様がお話しになったことを思い出しなさい！」と。「思い出しなさい！」。天使は信じられない思いでいる女の人たちに「思い出すように！」と命じたのです。何を、でしょうか。「イエス様が前にお話しになったこと」をです。女の人たちにイエス様との思い出が浮かんで来たかもしれませんね。イエス様のお顔、イエス様のお姿、そしてイエス様がお話しくださったことを思い出したのです。そして、女の人たちは天使がつたえてくれた復活のニュースを本当だと信じることができました。目の前にいる天使、墓に着いたときに見た大きな石、女の人たちは不思議な出来事を見ていました。それらはイエス様のよみがえったことのしるしでした。でも、最後にイエス様がよみがえられたというニュースを女の人たちが信じさせたのは、イエス様のお言葉によってでした。イエス様のお言葉は、イエス様がよみがえられた何よりも確かなしるしです。

□ポイント3 女の人たちはイエス様のよみがえりを伝えました。

女の人たちは弟子たちのいるところに戻って、自分たちが墓で見た事、聞いたことを話しました。墓で途方にくれていた女の人たち、天使を見て恐れていた女の人たち、イエス様の身体がなくなって悲しんでいた女の人たちが、今はイエス様がよみがえられたニュースを他の弟子たちにお話しているのです。大きな変化だと思いませんか。きっと女の人たちは喜んでお話ししたと思います。だって大切なイエス様がよみがえられたというニュースなのですから。聖書には、十一弟子とその他の「全部に」、そして「一部始終を」報告したと書いてあります。女の人たちはしっかりと、そして大切にイエス様がよみがえられたというとびっきりのニュースを伝えました。

☞「途方にくれていた女の人たち」、「恐れていた女の人たち」、「悲しんでいた女の人たち」と「弟子たちに伝えている女の人たち」を比較しながら、それぞれの場面に立ち戻りお話しすると、子供たちがもう一度今日の聖書箇所全体を興味深く思い返しつつ理解する助けとなるでしょう。※それぞれの姿をジェスチャーでやって見る、させてみるのも子供たちが興味深く思い巡らすことの役に立つことでしょう。

□結論

イエス様はよみがえられたお方であり、墓の中にはおられないお方です。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

神様は多くの人たちにイエス様がよみがえられた事を信じるように願っておられます。女の人たちにも信じることを願われ、天使を遣わしメッセージを伝えてくださいました。今、私たちには聖書が与えられています。この聖書を通して神様のメッセージを受け取ることができます。そして、イエス様がお話ししてくださったことも聖書を通して聞くことができます。女の人たちはイエス様のお墓で不思議な光景を見ました。天使にも会いました。しかし、女の人たちがイエス様のよみがえられたことを確信したのは、イエス様の語られた言葉によってでした。女の人たちがイエス様の言葉によって信じる思いを深めたように、私たちも神様のみことばによって、イエス様がよみがえられたことを深く信じる者となりましょう。